

2018年 沖縄県知事選挙現地支援 行動要項

はじめに

沖縄県知事選挙は、翁長雄志知事の急逝にともない9月13日告示、同月30日投開票となりました。平和で誇りある豊かな沖縄実現のため、沖縄県知事選挙勝利に向けた支援を心から要請します。

安倍政権はこの間、県民の反対の声を無視して、辺野古新基地建設を進めてきましたが、建設予定地に走る活断層や大浦湾側でのマヨネーズ状の軟弱地盤の存在で、工事は行き詰っています。

さらには、新基地を建設するための大きな根拠にしていた北朝鮮の脅威についても、南北首脳会談や米朝首脳会談の成功により、朝鮮戦争の終結・朝鮮半島の非核化・平和体制の構築と、北東アジアの平和に向けた力強い流れが動き出しており、抜本的な見直しが求められています。

にもかかわらず、安倍政権は国際情勢での積極的な平和への動きに懐疑的で、逆にアメリカの核抑止力の強化、外務省秋葉次官の沖縄への核配備賛同発言や、憲法9条改憲の次期国会提出などに執念を示し、辺野古新基地建設を県知事選の勝利で加速させる状況をつくろうとしています。

政府・自民党は、首相官邸の主導のもと、公明党・創価学会と維新の会の協力を取りつけ、現職の宜野湾市長を候補者として擁立し、争点そらしや総動員体制で県政奪取を狙っています。

たたかひの構図は「建白書実現をめざすオール沖縄」対「基地推進の政府と自公維勢力」です。

私たちは翁長知事の遺志を引き継ぎ、あらためて「建白書」の実現をめざして、県知事選勝利のため、全力でたたかう決意です。

安保破棄諸要求貫徹大阪実行委員会（以下、「大阪安保」）は、1996年以来、名護市において住民投票、市長選挙、県知事選挙などの支援を行ってきました。

大阪安保は、今回は9月1日(土)～9月30日(日)の間、名護市に専従者を配置し、下記要領で沖縄県知事選挙の現地支援行動に取り組みます。

記

1. 現地支援行動補助について

すでに、様々な団体、個人が現地入りしての行動を計画されています。より多くの方々に現地支援に参加していただけるよう、大阪安保としても、行動費補助を行います。

3泊4日以上、大阪安保としての選挙支援行動に参加される方に対し、1泊3000円の補助を行います。

(上限は、15000円とします)

ただし、大阪安保で確保しているアパートに宿泊される方には、その費用を補助することとします。

2. 現地支援の手続きについて

大阪安保の現地支援行動に協力いただける方は、別紙の「**沖縄県知事選挙現地支援 参加登録用紙**」を大阪安保にFAXしてください。

なお、飛行機の手配については、お手数ですがご自身でお願いします。

3. 宿泊・食事について

大阪安保で確保しているアパートで共同生活される方は、宿泊費はいただきません。

ただし、2部屋合わせて6人を定員とさせていただきます。

ホテルなどに宿泊される方は、ご自身で確保をお願いし、費用は個人負担となります。

宿泊施設に関しては、ご相談下さればご紹介いたします。

食事についても、基本的には個人負担となります。

共同住宅の住所： 名護市宮里447-20 丸平第2アパート 301号と305号

4. 沖縄県知事選挙支援カンパのお願い

地元へのカンパや選挙支援行動補助は、いま大阪安保が呼びかけている沖縄県知事選挙支援カンパから賄いますので、カンパ運動にも大いにお力をお貸しください。

5. 現地での連絡先など

那覇空港から名護までの移手段や宿泊場所などについては、参加登録者に改めてお知らせします。

現地での連絡・相談は、守山(090-8238-0133)までお願いします。

なお、私たちが支援活動で結集する沖縄県知事選挙名護事務所の所在地、連絡先等については、後日ご連絡させていただきます。

以上。